

菊花展

作業項目	準備物	作業内容
菊出品依頼及び下見(10月上旬)		各出品予定者へ、出品依頼を兼ねて、作品の出来映えや数量を見に行く。
菊展示場作り (間口 16m ×奥行 7 m ×高さ 3 m)	足場鋼管、防音シート ・ mー≒10 本 (屋根・筋交) ・ 5mー≒41 本 (屋根) ・ 4mー≒18 本 (屋根) ・ 3mー≒42 本 (柱・屋根) ・ 2mー≒8 本 (補強) ・ 1mー≒8 本 (補強) ・ クランプ数百個 ・ ジョイント≒50 個 ・ ジャッキベース 15 個 ・ シート 5m×5m≒6 枚	- 下見の結果により、会場のレイアウトを考える。 - 鋼管で会場の骨格を組み、防音シートを張って会場の外郭を作る。
菊運搬 170～300 鉢	トラック 2 台 (2 t アルミフルハウスショート 1 台、2 t アルミフルハウスロング 1 台) を 2 日～3 日 下ろし真砂土 1.5 m ³	2 t トラックで作品を搬入する。クッション用に砂を敷き作品を傷めないよう、フルハウスタイプのトラックを使用し、慎重に運搬する。 - 搬入した菊作品は、誰の作品か識別できるように出品者ごとにまとめて仮置きする。 - 作品の種類・数量を記録しておく。
菊飾り付け	展示補助材料 ・ コンパネ≒30 枚・ビールケース≒80 個・ホワイトシート 1 ロール ・ 溶岩石 40～50 個・砂利≒1 t ・ 垂幕 1 式・葦簾 14 枚	- レイアウトに従って、展示会場を作る。 - ビールケースを台座にし、その上にコンパネを敷き、ホワイトシートをかけて飾り台を作る。 - 必要に応じ、溶岩石や砂利、垂幕、葦簾を使い、会場を演出する。 - レイアウトに従って、搬入した菊作品を会場に展示する。
< 菊の種類・大きさの例 > ・ 大菊 (高さ≒1m～≒1.7m) ≒150 鉢 ・ 懸崖 (長さ≒0.8m～2.5m幅≒0.4～1.5m) ≒40 鉢 ・ 千輪咲 (径≒2mから 3m高さ≒2.5m) 1 鉢 ・ 玉物合せて (高さ≒0.5m径≒0.5m) ≒50 鉢 ・ 福助 (高さ≒0.5～0.6m) ≒10 鉢 ・ 達磨 (高さ≒0.5～0.6m) ≒10 鉢 ・ 盆栽 (立て≒0.5m横≒0.4m高さ≒0.6m) ≒5 鉢 ・ 静岡作り・木付け・等		
菊搬出	トラック 2 台 (2 t アルミフルハウスショート 1 台、2 t アルミフルハウスロング 1 台) を 2 日間	2 t トラックで作品を各出品者へ返却する。
展示場解体撤去	展示場解体撤去	展示会場を解体し、準備物を撤去し、現状に復旧する。